

感謝忘れず新たな人生を

八戸大・短大 215人に学位記授与

八戸大学（鈴木宏一と八戸短大の蛇口学長）と八戸短期大学（蛇口浩敬学長）の学位記授与式が23日、八戸市の八戸プラザホテルアーバンホールで開かれた。計215人の卒業生が、希望を胸に学びやを巣立った。

卒業生の中には、東日本大震災で自宅が被災したり、ガソリン不足で交通手段がない学生もあり、式には約150人が出席した。式では、震災の犠牲者に黙とうをささげた後、八戸大の鈴木学長



直後という状況の中、多くの人の励ましで卒業できることへの感謝の気持ちを忘れず、新たな人生を切り開いてほしい」と式辞を述べた。

八戸大の卒業生を代表して、人間健康学部の村井絵理さんが「私たちの世代は日本の危機的状況を克服する責任を負う。八戸大の卒業生としての誇りを持ち、難局に立ち向かう」と謝辞を述べた。

両大学は、式後に予定されていた卒業パーティーを自粛し、パーティー費用の一部を被災地に寄付する。

（石岡沙野）

八戸短大の蛇口学長から学位記を受ける卒業生